

## ■□要旨■□

### 1. 西岡塾長のMyBestJob

1969年シャープに入社し、CADセンターを新たに立上げるなどコンピュータシステム研究所長就任まで研究部門一筋。しかし突然、研究所長から当初赤字続きであったコンピュータ事業部長へ異動辞令が下る。異動した事業部では、約1年3か月間、上司や部下など多くの抵抗勢力から厳しい仕打ちを受ける。その動かない組織をブレークスルーできたのは、自分がトップであり責任をもって業績改善をやりぬく覚悟を部下の面前でコミットメントした結果であった。その後、世界最小最軽量PCを開発し、世界展開も成功させ見事に事業部の黒字改善を達成した。

### 2. 塾生が一番大事

西岡塾で一番大事なのは、塾生である。塾生同志が積極的につながりあい、化学反応を起こして欲しい。

### 3. 西岡塾の特徴

西岡塾とは、ミドルの競争力強化の場である。塾生は「これまでのMyBestJob」を発表し、5年後にもう一度「MyBestJob」を発表する。塾生はコミットメントしたその日から5年後に向けて、常に自己変革を実践する日々を過ごすことになる。

### 4. ミドルの戦力強化のために意識すべきこと

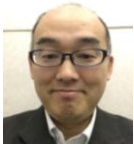
社内から見た自分の価値ではなく、市場から見た自分の価値を強く意識すべきである。新業務など知らない事柄を詳しい部下に率直に聞くことも大事であり、一生懸命に知識を吸収する姿を見せることでリーダーとして認められる。加えて、家庭でもリーダーシップを発揮すること、健康第一であり常に体を鍛えること、および外見を整え、姿勢を正し、あらゆるセンスを磨くこと、なども常に意識すべきである。

### 5. 西岡塾での学び方

塾生は、金曜日夕方以降、塾に徹するべし。アイコンタクトを取るなど講義を聞く態度をしっかりと取り、講師の気持ちをのせていくべし。評価とコメントシートの記載に際しては、しっかりと推敲し、特に主語述語の関係や助詞の使い方には注意すべし。間違いに臆することなく積極的に発言し、質問し、議論を闘わせるべし。講師陣や塾生から学ぶベストプラクティスの中で自己変革のために参考にするものを自分自身で決めるべし。

## ■□今回の学び ひとことでいうと■□

会社が変わることを待つのではなく、我々ミドルが自らイノベーションを起こさなければならない。西岡塾はそのための道場である。我々は、現場でまさに奮闘している講師陣が行う活きた講義や塾生との議論を通じて、自らを変化させる活動にチャレンジし続けなければならない。仲間同士が切磋琢磨し、刺激を与えあいながら、各々が己を高めていくべし！



■□感想■□指示されて行動するのではなく、自らの価値観や信念に基づき「今やるべきこと」を実行されてきた塾長の講義から、臆することなく自己変革に向けて奮起してほしいという我々への熱い思いを感じ取りました。講師陣や8か月間を共にする仲間から刺激を受ける瞬間を大切に、自己変革に向けて行動していく所存です。